



1871 1871

1871 1871

Red ink marks along the top edge of the paper.

十

文
崎
白
年
作

神
と
救
世
主
の
歌

4/750 | 138
12/20
4/750 | 189
188
20
28
20

0.56 |

本問文庫
文庫 14
A154





神と宇宙

矢崎白平氏

而神の而神の跡を
高き處を天の海
長と壯嚴を命あり
此世は宿り永遠に

此地球の光をバ
彼地球の朝送り
彼地球の國路をバ

此地球の暮はる

奇しき神の力あり
そとなき世の而空をバ
神の宇宙に散る
海の真珠に探るとも
人に知りたは星の如

光り走海をバ
雲、雷を裁せよきと

Handwritten notes in red ink, including numbers like 12, 18, 10, 15, 12, 10, 15, 12, 10, 15.

Handwritten number 1000.

Handwritten text on the right edge of the page, partially obscured.

海の潮とまきかこ
海にのりかきと寝るべし

次巻の序



海にのりかき

海の潮とまきかこ
此の海にのりかきと寝るべし
地獄の門とまきかこ

山の山麓切る電光
その影をつらんさいて
海の底とも照らしむ

~~海にのりかき~~
鬼をのりかきとまきかこ

鳴呼照りつらんさいて
世の業何処にあらむ
水は流れて海に入り
人は死して土に入り
世は世にたりて来る

うつろひかきとまきかこ
うちの程らぬ物一つ
聖賢の力、海に光り

神の御手よて動かすなり
神の御手よて動かすなり
神の御手よて動かすなり

其永遠の光とあり
概理の世をバ絶えり
造化の世をバ人知るや

晝よの晝の光あり
夜よの夜の光あり

語の言はばあり
声の全地を動かし
宇宙の大法永遠あり
神の御手よて動かすなり

光を家にし光の智慧あり
汝の高揚の世の光あり
吾子の向ふ教の光あり
吾の歩むる世の道あり
吾の神の光あり
捧げて唱へん大讚美あり

あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに
あつたに

讚美の顔の声の裡
赤しき恋の力有り
恋の色の声の色
世の奇しき義の呼吸

白の底の
愛の奇道
信の海
白の聲

Handwritten text in Chinese characters, oriented vertically on the right page of the document. The text is written in a cursive style and appears to be a list or notes.

以下全て
白紙

